

えーる だより

平成26年6月 〈第44号〉

えーるで見つける明日のあなた

これからの講座・イベント情報

区民企画講座

男女平等社会がつくる福祉と経済発展

ースウェーデンに学ぶー

7月12日（土）13:30～15:30

講師：アダム・ベィ（スウェーデン大使館広報文化担当官）

申し込み方法などの詳細
は、区報に掲載します。
ご注目ください。

子どもを取り巻くメディア・ネット環境

情報の渦の中で戸惑ってばかりいられない！

講師：田代美江子（埼玉大学教授）

7月19日（土）13:30～15:30

パワーポイント講座

7月26日（土）：①9:15～12:15

②13:30～15:30

えーるキッズ・エンジョイ・サマー

7月24日（木）：親子で遊ぼうハッピーひろば

7月31日（木）：イラスト似顔絵講座

8月1日（金）：パソコン打込みレッスン

8月7日（木）：親子で遊ぼうハッピーひろば

就労支援講座

わたしを知って、わたしを活かす！

9月25日（木）10:00～12:30

講師：堀江啓子（キャリアコンサルタント）



・すべての講座に保育（無料）があります。

平成26年度男女共同参画週間キャッチフレーズ

『家事場のパパチカラ』

男女共同参画社会の目的や基本理念について理解を深めることを目指して、内閣府男女共同参画推進本部は、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」とし、全国各地で各種イベントを開催しています。

また毎年全国に呼びかけて、この週間にふさわしいキャッチフレーズを募集し、優秀作品を選考します。さらにその中から最優秀作品が選ばれます。

今年度の最優秀作品は
山口県野田学園／4年C組
の皆さんによる『家事場の
パパチカラ』が選ばれ
ポスターやチラシに活用
されています。





缶切りや包丁の使い方を
教えるお父さんたち。



メニューは、たここチ
ャーハン、ハッピーサラ
ダ、まんてんスープ、も
もちゃんデザート。



当日お子さんたちが使った包
丁は、プレゼントとしてお持ち
帰りいただきました。きっと
今頃はお家で腕をふるってい
ることでしょう。

10組の父子が石神井公園区民交流セ
ンター調理室で、キッチンワークに挑戦
しました。これは、外で働く母親が増えて
いる昨今の状況に合わせて、子どもも
父親も、気軽に食事作りができることを
知ってもらおうというもの。

日本テトラパック社と全国女性会館協
議会との共催で実施し、ご好評をいた
だきました。



日本テトラパック
社広報担当者によ
る紙バック（ドリ
ンク用）について
のお話を聞き、実
際に紙バックの構
造やりサイクル方
法も学びました。

区民企画講座『早めの対策で健康生活！美しい姿勢（骨格）の重要性とは？』6/7(土)



骨のひずみが訴える身体の不調を早
めの対策で改善しようという講座（講
師：秋山清貴、健康管理士、ロコモ予
防の会）が開かれました。姿勢のバラ
ンス・チェックや人間の骨格の模型を
使った老化のメカニズムを伺いまし
た。お話しを伺った後、日頃の健康に
ついて具体的な質疑応答があり、健康
管理について学びました。

<区民企画講座>

区民企画講座は、区民の企画・運営によ
る区民のための講座です。昨年11月に募
集し、運営委員会によって6つの企画が選
ばれ、当センターの委託講座として平成
26年度に実施されます。

平成27年度実施の区民企画講座は、来
る11月の区報掲載と同時に募集開始を予
定しています。奮ってご応募ください。

ことばの発達をうながす子どもとのふれあいテク 5/11 (日)

「うちの子、言葉が遅いみたいで…」と気になっている母親、父親、夫婦、母娘とい
うバラエティに富んだ参加者を前に、講師の渋谷英子さん（言語聴覚士）にこれまでの
経験を踏まえたお話をしていただきました。

続いて、個別の質問にお答えいただき、参加者の皆さんに情報を共有していただく
ことができました。

<参加者の感想から>

- ・急がず焦らず比べず、子どものペースにあわせてあげればいいのかと思った。
- ・子供との関わり方が大切というのは頭では分かっているけど、正直実践出来ていないのかわかりません。今回はその意味で、改めて始めるのに良いきっかけとなった。
- ・新しい言葉を発すると、ついいうれしくて「もう一度言って」と何度も言わせてしまっていました。子どもには迷惑なことだったんだとわかった。
- ・「ママ、ママ」といつも私のところにるのは私を信頼しているからだとなり、いい接し方が出来ていたのだと自信になった。
- ・参加者の方たちの話も聞けて参考になりました。



この講座は、地域活動団体「ハッピーひろば」の企画
提案を受けて当センターが実施しました。

企画展示『女性を変えた“モノ”たち』6/3(火)～6/27(金)

1950年代から始まった高度経済成長期は、日本の社会が大きく変わり始めた時期でした。「女は本を読むな。理屈をいうな」と言われて育った女性たちが、社会に出て働いたり、PTA活動や公民館などで学び、次第に自分の考えを述べる力を蓄えて社会活動をするようになりました。

それまで日本女性が当然備えるべきとされ、花嫁修業必須科目とも思われていた“婦徳”「さ・し・す・せ・そ」（裁縫・躰・炊事・洗濯・掃除）の求める内容は次第に変化していきました。この数枚のパネルは、『働く女性を助けた「モノ」の歩み』（天野正子、2003年）をもとに、生理用品・インスタント食品・家電製品などの進歩や、男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの法律、文化住宅などを女性の生き方を大きく変えた「モノ」と捉えて、表現されています。

同時展示中
目で見える日本女性の
古代から現代まで





上石神井北小学校金管バンド

5月31日(土) / 6月1日(日)
2014男女共同参画センターえーる
フェスティバル
ー男女がともに輝く未来へー



よさこいチーム響

真夏のような天気にも恵まれた2日間。熱気に包まれたフェスティバルの極々一部をご紹介します。



開会セレモニー



「長寿は歯から」(幸齢者部会)



「英語でチャレンジ」(子育て部会)



「戦時下の少女たち」(女性の生き方部会)



「食生活の危機!!」(わこうと応援部会)

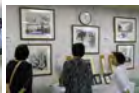


記録写真提供: 山本靖洋(イベント部会)

活動展示発表(18団体)
手づくり体験(7団体)

活動舞台発表(13団体)

活動団体の皆さんによる
展示や舞台発表を全部紹介できないのが残念!



<特別講演会>

表現する女性たち

～文学・名詩に息づく女性の声を、朗読と音楽で～

講師: 飯島晶子さん
ピアノ: 横山一恵さん



練馬区在住の朗読家である飯島晶子さんに、横山一恵さんのピアノ演奏をバックに、古代から現代まで、それぞれの時代の女性の思いを、詩や文学の朗読で綴っていただきました。

「元始女性は太陽だった…」と平塚らいてうをして謳わせた古事記の一節からスタートして、近代は「君死にたまふことなかれ」(与謝野晶子)、「わたしが一番きれいだったとき」(茨木のり子)、「わたしを束ねないで」(新川和江)等々と続き、フィナーレには当センターの展示でもお馴染みになった『祝婚歌』(吉野弘)を清澤洋一さん(ゲスト出演)と掛け合いで朗読するというバラエティに富んだ講演会となりました。

飯島さんのユーモアにあふれる解説に笑ったり、時にはその詩歌に共感して頷いたり涙ぐんだり、満員の会場は暖かな雰囲気になりました。

<参加者の感想から>

- ・女性が日本の歴史の中で果たした役割は、素晴らしいと思う。
- ・よりかからず、私を束ねないで、とても素敵な女性の生き方に私もそうなりたかった。
- ・時代の先駆けとなった女性達の文章や詩の朗読を聴かせていただき明治以来150年頑張ってきた女性たちに感謝。
- ・抑揚のある豊かなお声で心の中にしみ通っていくような朗読だった。
- ・自立心のある女性の生き方を様々な詩を通して知った。
- ・時代を追っての解説付きで、とてもわかりやすく、よかった。
- ・まだまだ女性は男性と対等ではなく、夫婦間でも男性を上に見ている面がある。今日のお話を多くの男性にも聞かせたい。



国際女性デーのシンボル・フラワー
ミモザ満開！

2月28日は、国連が決めた「国際女性デー」。そのシンボル・フラワーのミモザの苗木をセンター入り口近くに植えて3年。今年は例年になく満開となりました。2階交流コーナーのパネル展示『国際女性デー』を見たお客様は、改めて満開のミモザの前で足を止めていました。

えーるの玄関脇にあるミモザが今年も満開になりました。（4月3日撮影）

利用団体活動発表コーナーのご案内

お問合せ・申込みは受付まで
団体活動の発表をするスペースをご希望に応じて設けます。

- ・登録／利用団体対象
- ・利用は2週間以内（事前予約）
- ・必要備品の貸出し（応相談）
- ・無料



図書・資料室

※初めて本を借りる時は、住所等を確認できるものを提示して利用登録をお願いいたします。

貸出冊数：6冊 貸出期間：4週間

※貸出中の本や所蔵していない本のリクエストを受け付けています。
（リクエストの本がすべて購入できるわけではありません）

※女性問題等の学習、研究活動に必要な情報提供サービスの一つとしてインターネット検索用パソコンを設置しています。
5月よりWindows8になりましたので、是非ご利用ください。



相談室より

一人で悩まずに、まずはご相談ください。

☎3996-9050

※総合相談

毎日 9時～19時（祝・休日は17時まで）

※心の相談【要予約】

月～土曜日 10時～19時

（祝・休日は17時まで）

※配偶者等の暴力に対する（DV）専門相談【要予約】

毎週月曜日 9時～17時

毎週水・金曜日 10時～19時

※第1金曜日のみ練馬区国民相談所で実施
（9時～17時）

※法律相談【要予約】

祝休日を除く毎週土曜日 13時～16時

（1組30分）

※法律相談の予約は、相談日の1週間前の
午前9時から電話にて受け付けします。

練馬区立男女共同参画センターえーるのご案内

■開館時間

午前9時～午後9時30分

■通年開館です

（12/29～1/3を除く）

■お部屋の利用申し込みは

練馬区公共施設予約システムから
<http://www.yoyaku-nerima.jp/>

〒177-0041

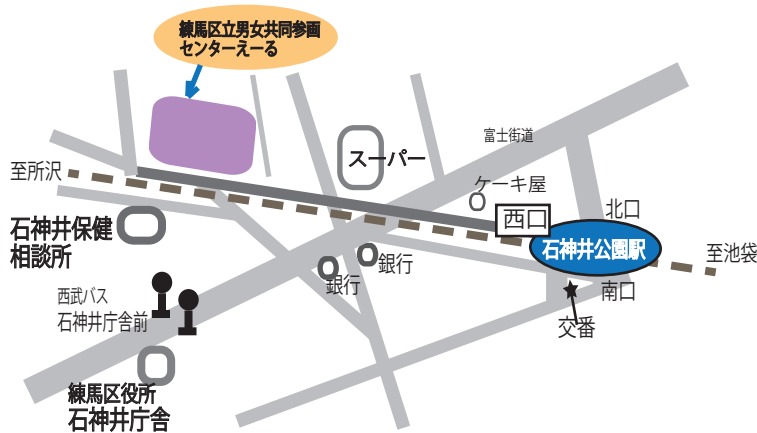
東京都練馬区石神井町8丁目1番10号

Tel 03-3996-9005

Fax 03-3996-9010

e-mail yell@nssk.net

<http://www.nssk.net/yell>



西武池袋線「石神井公園駅」西口下車徒歩5分
※お車での来所はご遠慮ください。
（お体の不自由な方はご相談ください。）